

地方独立行政法人山口県産業技術センター評価委員会（第9回）の審議要旨

- 1 日時 平成24年7月20日（金） 13:00～15:30
- 2 場所 山口県産業技術センター 会議室
- 3 出席者 三浦房紀委員長、磯部昌毅委員、魚谷礼子委員、正木圭子委員、三島正英委員

（委員会の内容）

I 議題

法人の平成23年度に係る業務の実績に関する評価について

法人の平成23年度に係る財務諸表等について

法人の中期目標期間に係る業務の実績に関する先行評価について

→ 資料1～10により、事務局・法人から説明

《資料説明後、質疑応答・意見交換》◆委員長 ●委員 □事務局 ○センター

<産学公の連携について>

- ◆ 山口大学とは包括的連携・協力協定の締結や周南地域地場産業振興センターとは包括的連携協定を締結しているが、県内にある3つの高等専門学校との協定等の締結については、どのように考えているか。
- 高等専門学校について、宇部高等専門学校とは従前から協定を締結しているが、まずは、山口大学との協定をしっかりと実施し、結果を出すことに力を注いでいきたいと考えている。高等専門学校等の関係機関とは、協定のあるなしにかかわらず、連携を行っていきたい。
- ◆ 県の東部地域には、徳山高等専門学校や大島商船高等専門学校があり、それぞれ得意分野やフットワークの軽さなどそれぞれ特徴があるので、これからも、連携を深めていきたい。

<事業評価について>

- 第1期中期目標期間の3年目が終了して、総合的な評定が「中期計画の進捗は順調（A評価）」という結果となったが、どのような取組によるものか。
- 独立行政法人化することにより、職員の意識の向上が図られ、県内企業の思いを形にしたいという職員の思いが、このような結果につながったと考える。

<純利益について>

- 今年度は、約24百万円の純利益をあげているが、どのような要因により純利益をあげたのか。
- 収入を増やして、支出を減らした結果である。収入について言えば、外部資金の獲得や開放機器の利用数が増えたことによる使用料収入の増加であり、支出について言えば、事業費で整備しようとしていた研究機器を獲得した外部資金の中で購入したことや、更なる経費削減に努めたことなどによるものである。

<周南地域地場産業振興センターとの協定について>

- 周南地域地場産業振興センターとの包括的連携協定により、県東部地域の利便性が向上したが、今後はどのような方向で実施していくのか。
- 山口県産業技術センターの職員と周南地域地場産業振興センターの職員と共同で行う企業訪問については引き続き実施するとともに、やまぐち産学公連携推進会議の取組の中で競争的資金獲得に向けて支援を行っていききたい。

<産業分類別企業支援状況について>

- 産業分類別企業支援の状況（資料5 P83）にある技術相談や企業訪問数などと、技術戦略[ロードマップ]とのマッチングはとれているのか。
- 産業分類別企業支援の状況は、技術相談や企業訪問の案件を機械的に産業分類にあてはめたものであるため、技術戦略[ロードマップ]との相関性はない。
- 例えば、新エネルギーについては、産業分類別企業支援の状況からは読み取れないが、その他に注力すべき重点技術を導くデータがあるのか。
- 新エネルギーについては、それぞれの業種の中でそれぞれの取り組みを進めることから、産業分類別に分けることが出来ないと考えているので、それを導くデータは今のところ無い。
- 山口県産業技術センターが、今後、県内企業が展開していくべき重点技術に注力していくならば、その技術に関する相談や開発がどのように推移していて、目論見どおり増加しているのかエビデンスを残しておくことが重要である。中身の質や思いの方向が同じ方向を向いていることが大事である。
- 今後、検討していきたい。

<サービスの向上に関する評価について>

- ウエイトの高い「県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上」について、第1-1-(5)と2-(4)について、評点が「3」となっているが、今後、評価が上がる余地はあるのか。
- アンケート調査に基づく機器整備や支援業務の見直しに関する項目であるが、システムを構築・整備に関する評価であり、特筆すべき事柄がなかなか無いので、評定「4」の評価を得るのはなかなか難しい。

<先行評価について>

- ◆ 今までのペースで進めていけば、中期目標も十分に達成できると思う。引き続き今までどおり業務を進めてほしい。
- 先行評価の評価書について、独立行政法人化したことによって、法人化前と違ってこのようなことが可能になったことや、メリットがあったということを強調した方が良い。
- 本日のヒアリング及び評価書素案についてのご意見を踏まえて、評価書素案を修正するので、次回の評価委員会でご審議をお願いしたい。

《各委員了承》